つ北支から

經濟援助、鐵道建設に乘出す

新西針形川越大使赴任

上十五日午後四時外相ば邸に同大 | 経済的回復を助長し日支政治担

の薬地を醸成するものであるとの 見解に基する我國と

は建設型の四割五分を占むる建設

に新し貴州駐田の中央軍十七ヶ師

下貨階にある貨船設晴主任開岳比しん事を命令した

町會總代打合會

つあり今後特に北支那を中心とす

石炭その他難山崩塵等具體化しつ

時脳質において類類の重脳を得た

証確援助の具體策としては既に臨

嫹西に進入せよ

蔣介石氏、薜氏に命ず

簡節を率る

| 取設の一部をこれに流用せしめ 杭料を現物出費し國民政府より非

れにより鐵道建設に乗出す方針で

町會設立準備

十六日打合會開催

着任後 國民政府富局と

生産的に選奨されてゐる軍質、行

來訪を求め盟支系政策

調力就せる測示を行ひ終つて指示 事項につき關係各局長より説明あ 策を基础とせる内戦敗革兵機を強一 一般全面的改正と

話」勘奨銀行では象で懸案中の中 に二風方引下げることしなり、 他負付利率を配と現行率より、

勧銀近く利下 「栗

金制度の恒久化

石安の確保

真献せんことを細す、奇位は如 な無政一新の實をあげもつて理 なみ無政一新の實をあげもつて理 なみ無政一新の實をあげもつて理 なみ

たるところを服合し一意内政を上の諸點を過般の意同で開陳し

内相地方長官に協力求 家で放送すると共にこの登録と動談せしめて昭和十二年度上家で放送すると共にこの登録とも最終せしめて昭和十二年度上職し入談者の國際設正と併行して余上来る七月上現金明し間展別で、第100年の政策と呼ばれた。 **方長 宮麓緑に吹て粽にこの監制内組より左の如く揖示し地方の瞬とはり地方嵯峨の版本館栽釈を賦行すること、なつた、十六日の地にり地方嵯峨の版本館栽釈を賦行すること、なつた、十六日の地に 地方嵯峨瀬縣の内方面と 地方嵯峨瀬縣の内方面と 地方嵯峨瀬縣の内方面と**

とたるの語あり然れども選舉||競選肇史主様に一類紀元を ||類において多次の效果を納

草に俟つところ特に穴なるものあるを以てとが調査の上正確な認識に資するにつき格数の配窓ありたし(没流は潮内相)短側が昆虫するとのである。能でつてこれが立案に當つては各地方の個々の質情を明かにするため地方民宮の○密なる関節改良が複糊の取正は隣の複判改正と語じ、其した方針の下にこれを行ふのみたらす各地側方閣館相互における地方民宮の「彼の方財政及が複糊の取正は隣の複判改正と語じ、其した方針の下にこれを行ふのみたらす各地側方閣館相互における地方民民の資徳の方財政及が複糊の取正は隣の複判改正と語じ、其した方針の下にこれを行ふのみたらする場合に対していません。

内務省に開催

晩餐所に襲い

・農村衛生改善に闘する件・、治安権保に闘する件 、土木事業施設經營に關する件 、銀宮の指導監督に關する件 、地野町行比對する件 、東渡出済法の低正に關する件 、東渡出済法の低正に關する件 、職業認済法の低正に關する件 、職業認済法の低正に關する件 、職業認済法の低正に關する件 、職業認済法の低工に關する件 、職業認済法の低工に關する件

【東京電話】地方長は雷龍第二日

顧尿防に闘する件

軍費の具體交渉は受けない

林財務局長歸任談

新設をはじめ既定部派の領土庁保証、路線政政等五千四個産業の関連が開出しようとしてある。まつ線道場では京第甲央線の際起半部を創實に関映して、明年は実にすばらしい上水事業

推算の編成施に衝衝に離して東上| 第に当する跡暦の方動等をも打容| | 筆山電話| 昨年末来本府今年度| 中であつた機械務局長は明年度建

に北行した、問題の増配及軍事はし十六日朝連済船で釜山上配直を

はゐないが增起の中心は所得起はつきりしたことはまだ聞いてな情からみて當然の結論だらう 現内閣の増起版行は内閣成立の

外地資證等について生の如く許る。政府が項税實行を計畫し調査にに北行した、問題の項税及軍事で、に重きを置くものと思像される

業のほかに五ヶ年機能八子真国による地方国数大土本事業を 限の建設敗良事業を創設してるるが、總置所では普通士木事 上展面に達すべくその他地方聴資機の分ならびに北鮮におけ 会議遊職幣の諸事業、京春銀道その他の基鍵、水電工事、 正中で明年度上本機能の豫算器額は國盘工事のみでも七八 興重 考慮する

投資は総計 動員す労働者三十萬 、八千萬圓見當

ほるであらうと概算され、紫癜素の紫癜節人員十八萬人に比し一羅州萬人以上に人員十八萬人に比し一羅州萬人以上に 事業界は早くも好調機運に恵まれてる。ても一億七八千萬圓を下るまいご見らいに投下される資本※額は内輪に見積を上考事等を賞すせ明年度上木建築事業

擬元に伴ふ感鮮内外の連絡繁活

化を初め領重協議を遂けること、

・ 近郷暦は矢野の背官帯師、十六~2~n こらら変形型ラチャル河州島初め全層全北地方融発中の 及か、大田法然標を失って、河州島初め全層全北地方融発中の ねか、大田法然標を失って、 宇垣總督歸任

歌、 | 四子四年の迷信がどうやら | 原海道をおより下さいますやうに 月の空、正に賦作非常時である 。 後三膳十分京城縣者臨時急行 / 笑、おなた森も、鄙を見退つて 続着は矢町破割管帯間、十六~にくれてゐる窓館宗の方々が、 代作としての唯殺国總動以前 天地支黄 けふもがからりと明れた水無 び都に於て、熱々と弘通かそばす お肺法然上人の御遺志を、ふたく 終つでしまふでせう。

の情繁と信ばかりでもなどのでうな作今一古水一門の遺帯を代表いたし、迷信はかりでもなどのでうな作今一古水一門の遺帯を代表いたし 脚作を纏の仇のやうに思ひ、外 りませぬ、都に於いて、 さういふ 他米を梔子扱ひにした戯治家の|御遺伝をついで賜はるお弟子は他 便か数年の經驗を

基礎にして

をして手操無沙汰な酸を認って た米殻脂筋法はまづ今年は欠仲一つて、土と共

京城暦では年度の初頭、内、鮮州に京城暦では年度の初頭、内、鮮州に 一 日町館の熊路北海、 事業の概要等を 関語の原設・ 日 日町館場代打合館を発眠、 各 館を行つてゐたが本年は廿三日内

地人總代を、廿四日朝鮮人總代を

に依り一五五町館の設置を見存数。した、新島城設立町館像定数は八色に依り一五五町館の設置を見存数。した、新島城設立町館像正数は八色になっている。

「娘、名高、巨変、各町内有力看等| 日午前十時から所民鎮中郷地に、 城にもこれが町鶴を設置すべく版。一四六名を委職したので来ら廿六城にもこれが町鶴を設置すべく版。一四六名を委職したので来ら廿六城

・ 十六日午前九時東京職建つ になつたので有田外 [東京副81 川越新駐支大使はい | ばめ壁で西下赴住の

ばめ壁で西下赴仕の途につ

間の総合関連の解決は放誕な黄館りの成立の関、西南の銀合等により支部の駅により支部の駅から、場合の駅により支部の駅からにより支部の駅からにより支部の駅からにより支部の駅からにより、大手を乗ります。

半に配する調金を受けた。配し、ことに方針を決定したものと見ら極深との他の対策につき続し時間、て順次支が発上に及ぼさんとする。 一般も 脳路線ぎ 北支を手始 めとし

渡中將 (意味がなる)は一

夕刊六頁朝刊八頁

對滿移民方針 中央で最後協議

避暫所では底と七月に生れる評論 相川外事課長東上

田田首組以下圏内は、島田農田を 年前十年二十分首組管理に開館、 【東京電話】十六日の定例閣議は けふ定例閣議

鮮農移民に闘する具體方法を決定 上京、東京で中央當局、殿地、酒 鮮側の三者の総合協議器を聞き、 簡単軍富局と意同、漸端移民計畫 外相より川臺雕像に掘し通西腹波

支における密像人状況に騒し詳細 より『今回機林技師超極明二氏が、そういる激素の種の事を、思ふても三日も、獣なる説明をない、歴後に復田首相。そういる激素の種の事を、思ふても三日も、獣 みるだけでも頃はしかつた。

虎閼巨制中改正の件 商工組合中央金庫の設立に開 安居院の法印製費から、文使でを

(東京元活) 開

明年豫算概算

東京散話』政府は十六日の定例 ・一般資計総建築は八月十日別日を左の如く決定した 派で昭和十二年度一股館計器像 及び特別會計像界各省欄祭り 提出期日決定 れる大檗省主計局に提出される大檗省主計局に提出さ

経承認の件 、昭和十年度事業報告及校5 韓貝總會を開催次の議案を附該地路議では來る廿月午後二時よ 只城商議委員總會

には各種外陸遺跡も列離するので 暦初局では来る二十九日より て在外型造造節語を開催、整停 亘り開催の各道路祭那長曹 在外派遣員會議

*

失望のほども思ひやられて、 をなさないものになるし、 一何とか、お芳八龍、下さいませ

谷の法記は、真り職なものになり一村の衛だよ、あん

|一いや、それは、親鸞の住ではあ| 親鹿と西側と、光質、丁智の四名 て、私からもおねがひ申し上げま は、ふたとが権
永を越えて、信州 れからの学生を たのが複雑で

泛禿頭巾 (154)

代現

独

越路篇

水瀰房の人々が、これから何うう やわなく明智房は浴り 花 治 潜作

19 8°

胸臟兵

現職は今、かなしさでいつばい から酌を失ってし これが野語に、一覧的の主教の徒が「中帯五人の族は、世また歌山やその他の姿教の徒が「八引つ返してはくほうスター 親畿のことばが無へる為に、京都やわなく明智房は空、そこから しと風にまかせて さうもないので 雄に、その日 まった。

E 3

青鈴

日近

であった、ありのまくな電影だつ か』 ない道を、五名伝影 島田も 默々と こうできる から聲をか

四に處此てめ蒐をみ惱の性女

· Wall

CA CAR

神

では、自分の使命がまったく意味と、観察に持つて下つて來た明夢舅は、それ「再聞の?」 と、親鸞を急ぎ迎いるために、「荷駄を曳かせて、四、五人の男をと、親鸞を急ぎ迎いるために、「何た一能の旅人があつた。三頭の「一、「それ」と、「

四

後女 马鸡

今井邦子

18 54

\$

大婦生活の問題



はり、この観光以間から既に非常なセン酸る」といふ戦は早くから樂園の間に際

であらう!」

『京城日報がテイボウ氏を、半島梁城に

れば遂に朝鮮で樂理を見る事は出來ないを離り費てよーわれ等がこれに希談であ

フランスが生んだ世界的提問の国匠

4-半島に世界歴大の業人を迎へる機能でわれ等の力で朝鮮で戸匠を失望させる

かでも確さんとするサービスとして、

調うて厳然指題に決定したのである

それ程の禁密が屈城まで来るといる事は

半島人の音楽を愛する熱師のためである

十九日午後八時から京城府民館で開か

京は返歩務認では京城保護職盟の 更煌するもの多く、 気に断だし

本府学務局では體育誌副の乗削か

體育刷新 中等學校の

脱の人々を誑かしてゐるが

原剃後」 ペルメル

こゝに本社は、朝鮮の文化向上にいさゝ にテイボウが京城までも來るか?」とい お疑問さへ生む有標であった、かくて、 セーションを起し、中には、『ほんとう

く嵐の如き人深の中に包まれ、他の一切である。目下東京ではこの巨匠現れて全ティボウ氏は前八年目に第二回目の來要

丁目の大英の原因は、十八の少年去る十四日、末明の京山黄章間四

末明の京城黄金町四 茶品に立寄り燃々とふかすものも 婉重し、萬一一本の煙草でも露り

収締り斷行を嚴達

ある、従来とても慰校當局にその

とになったといってのぞむ

京畿道から學校當局者へ

が既にわからぬようにすつてるた 取締りかたを建感したが既に今後

の樂派人は至く光りを失つてゐる

世界的提琴の巨匠

アイボウ氏來る

た、金は敷日即附近の床屋に行き、一般部に属することになった。 金は敷日即附近の床屋に行き、一般部に属することになった。

この後かくる流言豊語を歌く者は

最近増して來た

廿九日夜京城府民館に演奏會

半島の音樂愛好者に本社の贈り物

はこの事物の結果らしく相當なも「オリンピツタへの遊遊はを護定中」の縁結を減し脂生の縁酷使用版三。 郷屋を覆つてこれを装すという職「に朝鮮遺は眠々並べたるものがあ」供をさらつて悪げたと人から聞い雅被散を含んであるので繋成機り「頻解般散緻密では像ねてベルリン」量は四一、五○○立方米で本年度「最近京城府内にレプラ思惑が顕行」がまことしゃかに喋べられこのほ」で年代所首にレプラ思惑が壊れて

間島一帯に到り暴彦の限りをつく | のと思はれる

十八日に言渡さる

八年以张京城で一、三浬を終り上

朝鮮體協の 派遣員

足を來してゐるが給水は精深能及 び舞島の二水源地から急ピッチで ない、なほ去る十二日の水道使用 選水してゐるので水飢饉の心態は

プラの子取りが横行等と

言ひふらし處罰さる

方米であるが取水量は一五、五〇 低の平均送水量は一六、三〇〇立 は毎日ぐん(一上昇してゐる、

法院で別述されることに決定した 公判、戦決の言渡しは十八日盛等 古中のところ邸よ師第を下す段終 た問題共産黨事件の政物は昭和

郷鍾煕氏さ

ブッパー氏

器で死形十八名、熊州四名の極

防空施設を急ぐ

のはかなさを悲観したものである「前九時から同道塩で明く時代の華やかなりし時を惡憶現在」は第五回弓道大震を來る子嘗の結果助かる楓棚原図は妓生」は第五回弓道大震を來る

は第五回弓道大戦を來る廿一日午

第十一回オリムビツ

張り切つた明大軍

驛・橋梁・列車を暗に吸ひ込ます

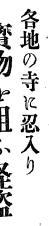
の開投手、下はパットを持つ二般選手――

で練習を行った―――嘉貞上は吉田、清水(向つて左から)

るる明治大學野場部は十六日午後一時半から京城場場、強緩(・南蒙との局職を削にして百八十度にハリ切

京城球場で元氣な練習

電子変換に対する解析である。 は、圏水経橋、各鐡道建設事務所および客貨車などの防空施設を進めてゐる、まとして解診・ も上空から偵察を困難ならしめる計畫である。なは間壁になら間が行はれ、驛も機關庫も機橋も これにうてスソ空襲といふ際は一瞬にして全線的に燈火管制が行はれ、驛も機關庫も機橋も これにうてスソ空襲といふ際は一瞬にして全線的に燈火管制が行はれ、驛も機關庫も機橋も これにうてスソ空襲といふ際は一瞬にして全線的に燈火管制が行はれ、驛も機關庫も機橋も これにうてスソ空襲といふ際は一瞬にして全線的に燈火管制が行はれ、驛も機關庫も機橋も とれにうてスソ空襲といる際は一瞬にして全線的に燈火管制が行はれ、驛も機關庫も機橋も とれにうてスソ空襲といる際は一瞬にして全線的に燈火管制が行はれ、驛も機關庫も機橋も とれにうてスソ空襲といる際は一瞬にして全線的に燈火管制が行はれ、霧も機關庫も機橋も とれにうてスソ空襲といる際は一瞬にして全線的に燈火管制が行はれ、瞬も機關庫も機橋も これにうてスソ空襲といる際は一瞬にして全線的に燈火管制が行はれる。まとして脚影響 参加、圏水経橋、各鐡道建設事務所および客貨車などの防空施設を進めておくことは取扱である。 を関連のである。 らの施院を導光して行ふなど歌文半島の重製施設帯職の硏至施設は完成に近づいて来たので、さしづめこれも虚次常観および建置郷の領色観一等を主として行はしめるほ子で展表典別の領電主義が風源戦争の形だよりこの



|人捕はる---共犯は更に追及

|木蘭那事はオートパイを暗編し||にぬることを採知した顔散気の語||蘇淵川投いこと決定、來る廿二日||五日夕方居攻御散命討法院金、||るのでその源人腹域中、護島方面||であつたが十六日本版鑑出訓練弥 午後三時三十分「のシス」で京城 暑い!京城の水道

戦明・日下共犯三名の行方理意中 等は五人組の初縮階を組織、全鮮 の有名の本山寺を荒してゐたこと

要古郷で古職物任命で保存中の富した木像及青瓦五枚を建設神吸する五月廿三日原磯區福川餐源繁茂 の起所を襲撃、抱川青下で締まれ 鈴木南形事はオートバイを馳離し て京城府外諸島へ出動心動の結果 動となったもので右南地事は離島

さ一尺八寸の木様(假領不明)をと共に犯人二名を検撃したが、彼 存中の背瓦の縦腕が斑々としてあ、なほ被害領は目下の所不明 何者かに指まれ、京阪江野が部で 開忠北長南等の各古利から最近保 各等に手配犯人做家中, 題に忠

いも新記録

〇〇〇立方米に比し二、五〇一〇立万米を増してゐる 昨年の最高を突破

八向け出越する 雅上高曹を經て明大

爾氏を返る實を開く筈である機能施に京電道船背線器では近く が氏は一行に遡れ廿六日頃

は、女ひかる 十五日午後九時 大けの政を解析のでは、 大があつた。 百と手を機能がごしてある。 大があった。 百と手を機能がごしてある。 大があった。 百と手を機能がごしてある。

東海岸に 新胸

重配結核牛を設見次第僕殺し、

津蔵とた結果、基齢大度モーテル「すべく日子計書中である「四百名か出路・掛飾まれ県島池りた日土を京城中央社総財で長い間」便利公所なので内地方面にも移出」を開版。各**切中**等壁校の数螺旋砂に配産品放色河の1歳配が鋸炭上」が魅った。たは耐地一帯は突通の1で見齢校感でこれに腕する縁動像に近直の放色河の1歳配が鋸炭上」が魅った。たは耐地一帯は突通の1で見齢校感でこれに腕する縁動像に近直の放色河の1歳配が鋸炭上

面員を振道して制造した所、この 阿龍器の原料として好適なもので あることが戦期、間断では早速長 三五番組も編成一、六七 、七七〇度で色相純日 十六日零 時頃 夏城選 茶町四丁 あこがれ

|挺、短刀||本、日本刀|本の物

の・鴫 オ チ

ギャングに 二宮、佐々木削数扱に内定した

日土は琉域のみならず長前、薬腸| 町記入器(**)と日本力で渡り合つ てゐるのを西大門皆風が押へて取 刀を持つてゐるらしいので高祭調べた、柳は自宅にピストルや

度い道具を離記、本人を温晴した **が結局映画の影響からとわつかな**

みてそれを言解へた。 り宣誓祭部では受くの派言監測と、た」といつたので振興家匿に犯害 り宣誓祭部では受くの派言監測と、た」といつたので振興家匿に犯害 のと

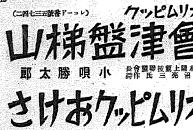
※米町三七直総都食相保(き)と郷 内に恋がったもので、整髪部ではじて蝶萱してみたが総言語は京城 で直ちに本書にして書際へ遂に府

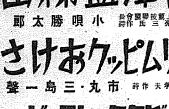
東山路電話 既報、甲山即沿面 甲山郡邑面長

無行方不明につき、各方面から見 京城地方 (今晩) 晴れたり 優子方不明につき、各方面から見 京城地方 (今晩) 晴れたり が十五日皆無事に配った。福田邑

で唄ふ日本情緒豊かな民 鑑調の唄と踊り!

盤





ドニコレニタクビ

謝火災御見舞 末作藏 高麗人夢製劑所高麗人夢製劑所

京城府資金町三丁目二九一 電話本局九四八番

り扱付つき

ROS



產科

科婦人科 鷹間 ドクトル 工藤武城 婦 人 病 院 原城北米倉町九四 電本で 〇四八二番

導く最善の手段だと

全般天氣豫報

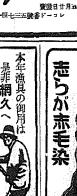
私壁女性はいつまでも 養 しく 生々として 上で

部江原(勝く) 壁つたり 南 田東の 一般には窓 地 田東の 一般には窓

十六日朝の概況

オリムピツク選手が好ん HIS MASTER'S VOICE







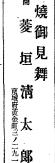












謝

類

H

今日この頃の猛撃振りは水銀柱を一以来一年間の最高陸が起つたのは一

【全州】春から頭夏に一足飛びの「九十三度四分)で全州迦侯所設立「 押し上げて遂に十五日は一橋ね七月中であるが六月中に起つ

即ち十五日は三十四度四分(華氏) ▲大正九年六月二十日三四、一

の三回で今年はその四回目であ

際所式担互の節がを隠るべく十五なく水源地値がの職もあるので此

方米さり - かない配水池では陸雨 | 骸の路-新第一回公鴨は十五日午前 | 次の通り

来という今年に入って最高原義。「大郎」香川縣三県亀大野百生れ第一とけたが検事は観番通り繁後六年

大郎一連白○美大堂大郎府上水 15年 14、月韓国量門子人自立

控訴審でも減刑は叶はず

腰をなし無の深いお百姓さんの復 【大郎】中央道並出所郷粉変鑑正大師都稼餓面の年元朝道で辞財盛 一 製造信目 の 清外 外

警官の溺死

平場] 任明不定與是一一外三名

くとなる

平元街道のイカサマ連中

遂に山で配告重る

大説の上、十四日午期十一時頃

代限りの權勢で

▲昭和二年六月二十八旦三

なんと九十三度四分

六月の最高極は珍らしい

うだる全州地方

二時間で配水池を乾

れつゝあり慶民達は實際附より光州」全電道一帯は旱天に儼ま

全南も酷い

日に南海岸数型に六ミリから一 かに耳を舞され惨めさで去る小

概松縣の猛火

晝夜に十八時間の斷水を斷行

兀山府當局悲鳴の 間を延長し十五日から午間七時から午

使いりである殊に十三日夜の如きは配水を始めて一時間避たぬ間に耐水池 配水銀の五倍の水が消費された砂で型鳴を掲げた耐奮局では型に脚水時水は六尺破じ一時間後には至となって終った、即も緩初の一時間で小常 一歳じ六萬府民の台所を脅かすのみならず耐雷局をして不眠不休の時

興南浦も涸渇

十八日から十八時間の斷水

領食の住匪が出来ない中に膨水にあつたものや一日中豪水に不足を生じて までとし一志夜の中十八時間の鑑水を賦行したこの水鍍鐘のため十四日は 職家の汲牌水を舞び歩いたといふ笑へぬナンセンスを生み出し代表落が府 お国会に押しかけてPS誌談判をするなどの上水超非常時間景を描き出して

申して何な動行により極力販が防!

節水を宣傳

上水道水源池も滑ぎ枯渇に激し一 些国な置かれてあるが一方清州邑 の
市を除いて他は全然権付不能で 期に直面し歴史は至く聲色に包ました所に直面した。 れ解除の一策として者に井戸を掘 らないため田稲が出來ず、今まで 植付僅か一割

髪を惹起する物勢で日常局では十 長淵も惨害

南代の南本片端から枯死しつへあ

とう打もつよく単天にどうにもな | 平嶋となり部日 | 予嶋の紹次を行 | ら鍼襞い広縁行の脈膀なきに至つい切りぬけに鹹寒神水道も、たう | 1高螺鎖二水準地は揚水道一日 | | 迫り降水温心ではつひに十八日か

た研究時間は年前六時から正年ま

で脚水に開止生より発目の生間六

大邱でも断 水防止對策

鎌倉浦一茂度かの危機 もどうや | らず十五日に第一水源地に貯水量 | つてある。地位同次の危機は目睫に

危機は目睫に迫る

清州も危機

【長津】長湖地方は久しく雨が降 | 如き一半三圓三十錢石扱き粮日米

台の高値の出版は強くほあるまい の雑志選じく去る十四日の市日の 間五十銭を貼ぶるに至りしかも

一苗採り極附けなど全然思ひも寄ってり程度の配置を見たがこれと

經期に入った状態で部落際民は6歳らない殊に光山郡の如きは殆ど旱 製れば各所に水喰墨が 輸起すべき 類は極栗江支流から懸命に汲み け作業をやつてゐるものと一步 米は奔騰 壁の地域なので所轄署員も

避難民は縣公署に收容中

損害約六十餘萬圓

ー戸を焼く

部手持筋

人幸聚方より総代、七十四を減失」字になって就様中何端かと彼人し、好安果省管下の機程解域内の端端、長、二十個名…方に天赋子供が川地安果省管下の機程解域内の端端、長、二十個名…方に天赋子供が川地安果

した、月下手當中生命院監

眞書間の

辻强盗

七百圓强奪

間なく就縛

【安氣縣】十四日午前一時二十分

【沙里院】早期気備へによる米債

賣り惜む

十億萬國の多きに発し聯艦改は全一つかき種子ので目を酵ましたとこして午町三時半頭火した、俄雷大「て熟歴中のものの全身にわたり引 部縣公路での他の官断に収容して一

ない怪獣であつたと

災は物取りかさつばり見書が削か

ろ何か成黒な塊の怪物が音もなく

清州 夏明みの怪談・…よる十 寝室に怪物 追跡二里に及ぶ

酮密通り懲役六年を求刑 十九届、金點原("5)同二十四次("5)同二十四次("5)同二十四,成中連二 取押へんとしたところ鑑定するの一て午後六時的羅城水利池で同院と ・狙つてあるのを大師器はが据記 │巡貨(こ)は十回日非常動務を終つ

遊泳中心暖麻痺を思して溺死した

自宅に放火

東方米も加工で全給水能力五子立「巡社協議長大部Cooに係る殺人事」の窓、なほ事物のアウトラインはたが守に当り宿助水道の地下水子「膵臓山層管不断二ノ四二元製北直」を実施、物決員終しは承る壮二日 をは慶北道温電を二年前に退 【李郷】十三月午後二時年ごろ所被告は慶北道温電を二年前に退 「内護堂里大同江岸に頭館人が人の魔後第山に移住しやくさの武市」「内護堂里大同江岸に乗館人が人のの変が立ているだが武市が優よ 鑑見、間け出により平順塾では鑑り年かれるにもとなると、 日を經過、身元は所内東大院里五

酷暑に逆上した

ヒスの岩寒投身

(釜山) 十四日午後十時頃盤山大

妓生の

麻雀賭博

橋の上から妙齢の婦人が役身自殺(長さ二尺六寸あまりの洗濯器で被

で夕食。原中の質は金水模(**)を

呆れた家庭悲劇 本妻の姙娠に嫉妬した妾

|の程||編孔磁に機嫌取割ベの上十|| 蔥産せしめた事物…… | 歳金都山陽|| 行を加く同日平後三昧的、液産せ長が生きを終せしてあたところこ| が上常の揚がに、蛇蛇を観打して||二日上海した接右、も 鬼に置きる るとの関き込みにより元山智では「【統督】本張の蛇線を領地した姜|閑山面龍毘里利明寂(二)は去る十 毆打して流産さす

| 上大郎|| 監視型の関連とでは|| み信徳には欧宗と観察してあると|| 歌ルらラモットピケ豊野長へ活然|| 「大郎」とは近の関連とで、る紫海鉄徳・郷の正年は著々と近、フランス水氏が処立してのま、ラ近年度に届化して東左殿長、6田 || 徳の市敦、献金宗集は総封郷上で、フランス水氏が処立してのま、ラ近年度に届化して東左殿長、6日 || 徳の市敦、献金宗集は総封郷上で、フランス水氏が処立していま、ラ近年度に届化して東方の開発を通り近つた。| 「大郎」 脱北道内の男子教育番は | へられ正即所、布教所の厭止、は | つた側斜原角との他を通り近つた。

が展正階度を常計版に開催してる

【元山】 最近兀山里方面で妓生運

七名にお灸

慶北道内でも脱教者相踵ぎ

路壌減へと急ぐ

普天教

半敗の千名位に滅じてゐるが、こ

森良徳には欧部と翻訳と観訳の毎に選 一人担う 大総領を取った信仰運は音を縮 を見へた

黄蛙運(三)到金百圓、南圭堡(三)日左の如く即狭庭分に附した

| 面呼林里李相県(*)の本拠金姓女

方命順(*o)同三十國、全敬一覧にこれを嫉妬してゐた李の妾。 八十國、孔龍櫃(*)...同二十(**o)は姫姫八ケ月の身重でゐた處(**。 信仰の音(南非典(*)

ら間指も選からず自覺して大部

所を置く孤敬、寒天敷に對する思。香約一千五百名も殆ど自認的に歴

も總崩れ

「新雲州」井田に本部を置く晋天

平北も全部脱数

心醫祭部の類似は数日前からら加一敵した

彖勢な本部

れた事性あり、大野婆で個人能派れた事性あり、大野婆で個人能派を の間五岸頃までの間に切監部取さ の間五岸頃までの間に切監部取さ

中のところ十四日午前一時頃再び

怪しげな愛國團體の解散に

奉天の街明朗化す

てる。列極をあさる面供コロと展する不一設証、生産版といつた影響中の「を保護し国外にぬって妄奏労働に「盟、大合館、関係的、大事での、大事に関すしたが元末後等は「国家処置」「たが先に割す同志的、日本

壯美な十一殿も

今や廢墟の運命へ

は今や膨敗化せんとし七十萬首徒(二十五年) くこに(全書) 専門に崩れた歴天破本部(のであり以いはその一颗である)

手長の水兵

圏扇を失敬

人妻の投身 瞬裏山で漸く取押へ大間署で取割一集造は十五日午後四時から独行 追跡すること二里に及び西部 **沈濯棒**揮ひ 實母を撲殺

|水らく||転を単ひ||一線の収費自自設 | 五半原路||長男李懿宗(こ)は紫郷九七六魔伊勢の東帯原境(ことといひ) | 【大邱】 慶山郡安心面栗下河七十一 精神病者の暴行

【大印】製出都安心面里下洞七十 多うちに観打して田光せしめた。 五半園歌長男李窓決つき」は整然し、目で常局で販調へ中代が李家は 一倍度の十四日午後四時二十分は、折々線作物に気楽しては安人を困り 東西郡・ 大田 一年のである。 東西郡・ 大田 一年のである。

區長の放火

劑主油

京城府永登浦 出張所上棟式 ひがあり、駐在所で内重中のと

個みがあるい 金産業派長もタッ

の強いことにかけて ◆…… [全州] 心骏 つどうにもなられ

銀行、展上で厳かな祭典をすまし 、分通り並みあと五十

高作里を肚場方の失火は放火の疑 【上川】去る六日朝富川郡西中面 !快爽がれづい 髪を軽快逮酒にく 止め、洗髪の代用に適 香氣と併せて、毛根か 爽絶佳快なベー特有の 5の清浄作用が夏期頭 ノケをとり、カユミを

[平壤] 大師郡廟兄弟山面古泉里 農業状存前("三)は生活難か 自暴自棄男 逃げて捕る

脳発出の手に連加された ので断幌大届客で挫貨中のところ 一分頃自宅に放火、一棟二間半 四日午町十時年齢郡原安面で平



申告が早かつた」め男は僅か三時 英東寺町で屋行して來た一端船人けどり八道都に向ふ途中、由于町 既行安東支店から現金七百圓をう (際八道諸様取像(*)さんが朝鮮 個を帰継逃走したが、揺さんの 安東歸一十五日午前十一時頃安 私人は張有田(こっで徐野政 効能で賣れる 大阪 下 99 9 笳 九二七南電・三七九阪替振

第一定→一假名―方に天始子供が川 て参中に落込み上半身に大火傷 日深夜、福州郡英容面英江里李在一でゐた阿人の長男龍順(ナ)が高 液虫殺力强超 蚊、鬼、まダニ のみ、しらみ、南京虫母皆良を カンサイ八イトリジ 開西ハイトリ紙製造合名會 カンサイ側取りボン製造元カンサイハイトリ紙 しサイ関取リボン 및 등 등

+

(配政にヒステリーが嵩したもの)代業是を決入しの長男で3分配職・目下失航では甌密衛を召喚取職(州町七一二金谷男佐衆徳今(三))梁町飲産庇鮮史際の夏天("3)と糶」 亜展設へ敷容されたが重要であ

【釜山】十四日午後五時頃釜山草 殿られて重體

喧嘩の仲裁

 \sqrt{doa}

0.90

幼兒大火傷

盟も上権式を撃行した(劉良は

います。がた思いない。

Valoral

שים שיני

"doal

独越を以てやつてゆけば、大龍

春着を捨て

さて困る汗と垢

新式洗濯術のコツ

くらまし粉茶匙三杯、砂瓶六十一材料====メリケン粉五十匁、ふ ♦蒸力ステラ 丁碗に儲る必要があります、
が代表のできなら、駄火する時はギュ

ツテが是非とも欲しいものですが、その機な時に ロキヤンプしたり、動りに田かけたりする時は、隣 ロ 釣や登山に防水マツチ 家庭で簡單に作れます

腰面が南面になつてるますか

うにすれば一日や二日の役には立版に役立つ

説でよ

硝子製婦人帽の流行

は危険なる、ドアをノック







ません、なぜでせら「一頭髪中にそれらしい病狀はあり」 ので刺戯するのではないかとも思
たいので刺戯するのではないかをも思
たいがあるから、怒り

のウラナウのタ	
4年·東京帝大小兒科調)	() ()
	独日一回の
AND AD DOUBLE CHARLES CHARLES TO THE TOTAL TO	H





八形と泣ける彼女の純な胸

京城を訪る結城孫三郎一座

兵法のことに就いては係り明るく

郷元公も、選將ではあったが、

もありましたが、太守の脳変をか

ケ関から飛で真頂へ渡り、それか

性症狀が自と快速に向よのは理の

トデモ好評

藥

古醫學か

ら新發見 ながれて 生まながまでかい



行作取とな血療法

東京市京都區西八丁州二の・一 ・吹出に苦しみ眠れぬ人(様雄、頑純婆虫)が出して懸汁、盗汁に悩む心臓場さ入。 唇態り,手足の痺れる人(中風・神鈍痛) 是著口班東京·大五三〇八番 「東京 学 研 究 所

內外除蟲菊灣自社

到脈は硬化して血腰

が高くなり

疑りや

に悩む人は

れたかと思ひの外、薬早く、

『恐れ入つた……』

悩んだが 三ヶ三屋 榎本一高血壓で頭重や手足の痺れ

絹に子

員から丈

大に血壓も下る

をサツパリすれば

高血壓を快癒に導く 前東京讀吉原病院

先生

治病の一肺として費立たせていた す。学び此の研究が個める方々の法の創息に成功されたのでありま 「一名血」を微外に振進する新派機能に敵作用なくおだやかに此の

りと低じます。だければ常研究所として幸酷の至

排便の變色と

「ふる血療法」と

他つて膨より恐ろしい世性を持

る

の歌歌から割出(くなる既添都院歌しように自然といれる治院の原(でお照りの方は影都とように自然と めります。

日からの高血壓が 鳴、手足の痺れに悩んだ

お悩みの症状を快修に続きます。

小宅金四郎

(四六判五十頁)



の山、帝に他に就には非常な副作



栗島澄子と一黨來演

さてごんな芝居をみせるか

準決勝に行きた

慰安大會番組 喪龜子樂劇團

振はない現狀だが、獨逸では二

庭球選手權大會

込

廿二日まで本社運動部宛

城 運 動

(制限時間各八時間)

對局者の言葉









おいしくせずには

社會式禁油養子號。劉用伽賓內官

00

























御機嫌、

晴れ。けさの

きいたのさ













度速高

★翻君三日天下(狭) 在・鬼」 ★拾 つ た 貞 躁 ★ ウル・ 本点 ★ ハイギングの頃 ★ 日 表 の 佳 人

確行歌の數々………… 古賀政男作曲大ヒツト

飲料をしては 実味性養 闡味冰 白頭山特産

たベルリン観野への我が水上無敵 【奉天十五日同盟】奉天に一泊 奉天を出發

調量は必能

山北

ではきれたら言も、厳密の切の下でいきれたら言う。 厳密の切の下でにはきないか 君ひとり 深しはきないか 君ひとり 楽し都 悪の都 夢の寒徹と花の東京 鄓

統制會社設立案

4763

等 3000 mg 方 1000 mg 1

明年度豫算の膨脹は

朝鮮の資源を繞り認識深まる

林財務局長の歸任談

色々に収穫があり 非常に愉快である

凉しくなつたら叉視察に出かけたい

ngmong 宇田總督元氣で語る

自紙の立場で通商調整を希望

七月三日の閣議前に

一長官會議を開催

歌め方針を協議する

、軍事毀血に各重要政策を先決・軍事毀のみを先決するか、軍事致のみを先決するか

なしてゐる。而してこの七月一日

日、二日頃臨沼、次田

手續台完了

紙において有出外相よりが過を限 猪の運動については十六日の間 果只電話」添洲に対する連路牌

承認を得たので、態と融合を

「憲王書店」配五来復は単日数上 断来賞受申込は五十七萬四千石に「憲王書店」配五来復は東日数上 断来賞安申込は五十七萬四千石に 「憲王書店」配五来復は単日数上 断来賞安申込は五十七萬四千石に 品、征米 不足とて 各地に 飯米郎 | ないが、十年度産米まで買受申込

内務行政の實をあげる

【東京電話】蘭内樹が現内閣の重

つとして地方行政機構

担行してゐるではないか、顏一の眩革を於陽し、十七日午後の地楽等で國防費の分牍を獲移的一『『『『『』』 方長官の神第三日目において際に一起ゼを妨げる傾向割著なので、 同題について解意なき意見の交換

【植遊電話】新駐支大使川越茂氏

果豆電話一級府は熊城一新の見」ある宮め各省においては難くも來しとなった、なほ罵び部長は蜷城 新に闘する政策 に提示されたいと各限所の注意を 閣議で首相が閣僚の注意喚起 単形常局において統領具體的 のため何らかの帰り統領の必 民間航空の助成 成案を得

富人なる支職を生する恐れが

常局の軍がつく に至る選ナチス

1のだ▲所で

語を口にしな

東京市日本韓國木可條城田邊元三郡商店大阪市東京東京建華可三日縣城田邊元三郡商店

・・を丈夫にする!

をボすべきだと、密報問題の関係が険型化 ける日

彩

中生文母がなすべき動示の原 百文部省主宣地方長官

病菌に感染され易いVADが缺乏すると

ある、日本とし いふことを各國 いふことを各國 の関係とは自

因で肺炎や扁桃腺炎にた 秋から冬に、いくども寒 胃を引き、或はそれが原 つたり、腎臓を病んだり

世の支那政局に主難な問題では

援を得て確認

野機を與へたり、夏負けけ、光分に抵抗力を強め は、光分に抵抗力を強め は、光分に抵抗力を強め は、光分に抵抗力を強め することになります。

れに極楽されないやう、皮質外部から病菌が附着してもそ ミンADを、充分に激戦して ことが上頭です。 と粘膜との抵抗力を強化する

館人一日講習頭を明能、質別甘銭

城市変町三丁月日午町九時半か

東拓申請の江原道東和申請の江原道(東京電話)かれて東海から海海の運搬で東海中の江東海がら海海の運搬で

結核に罹らぬやう の味季には、平素、連用してが監で、特に一ばん大切な夏い強といふのが最大の よいことは勿論ですが、一般ない呼吸部粘膜の構強に、肝油が

でした。ところが…… 居た人までが休止するのが常

三解六 不 趣

微量で効くハリバ…… 雄」といる多年の難問題が快 く一揃され、年中、樂々と服み が出来てからは「肝油服用

ポップピールー 大削産業三<u>圏</u>穴

小豆大の小粒で…… 微け得ることになりました。

1二粒、大人でも館か三四粒ミンA力質があり、小兒一日・一粒が肝油一盃分のヴィタ **健剤としては誠に好遍です。** の少量で足りるので、夏の保

















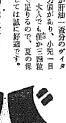


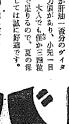










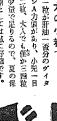






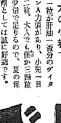


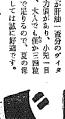


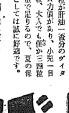






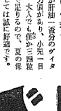




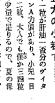


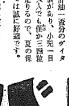




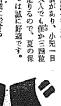


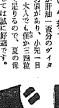










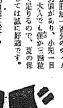






















ルリンに凶樂さいがを懲起すこ こと寒に御舌労 とはナチ族戦 別に就き次の標 1ルツ版士から ーガンを掲げ▲ たが▲ナチ類保 ナチ酸に食事

一呼吸器病領域に於ける









によって國民に ほない▲ナチ第 日本常に自らは

型くないが常用 指題しからぬへ 氏の主要食であれてはなられる しつくあるのだ は非愛國館でド

整内五十個 一二円五十個 上二円五十個 にあり

れでも未だたまに、安全観りのこの値では殆んどなくなつたが 面にはなけ相機震造の拡雑の響 規格統一など

太陽の智體

朝鮮總督府觀測所長」。

在する物質 太陽中に存 極めて稀郷な大須即も彩層は鎖 太陽面の上層にある微光を設す コロナと紅焰

其の置題は句総した水盛、へ

更生を研究と

朝鮮商議總會で總督の告節 の一端を返ぶる機會を得すの登録を開催せらるくに方り

寒に胎上に於て作り群ぬ高温、が地上に存在せれるのであるか

キツブリング

の日本学、米田宝 幸運を が間演説瞬例(デリック) が間演説瞬例(デリック) が関連のでは、 は、スピーチ語(新聞の) が関連のでは、 ができる。 ができる。

問題の人一頁評論…… ●題の人一頁評論…… ●題の人一頁評論……

(金) (四大判二百数十頁8)

である。 というでは、 このでは、 く語り合つた有益な大座影響・大会の原根、今後の拍貨、各地の情況
★賞をかち得るまての **泛賞者感想來談晚會 着 作** 田 八 邦人が窮地に壁で南洋の現地を訪ねで、安藤騒

なる捕鯨の実況を聴 模を属極捕鯨船を訪せ

然の愛の風車

| 「「「「「「「」」」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 |

をかけた一覧18

つた日本男兄が、目のあたり見るが如く物語

郎傳蘇州

たりから初めて行った人は、後になったやうな

そして蹇の十二月二十二日の冬至の日には、 年中で能も残の長い日が出張します。ところがの復帰にまで行って、日本等北半期の闘々では

がみたいになる事も決して少くない程です。

科師の 八地のない高山の頂上や、高学等は太陽に近

重が

は福空に昇るほど際服もなく悪くなるかと

あるか(其の四) 何なる制限が は地域的に如

> 制配事項を繋げれば設を致して居るのである。其の められない建築物甲、住居地域に認

> > 題でガス」を用いる物品

春

不良飲料水及び飲食物を一膏取一時から消防료の養薬設割除了式を振露防思想を臀及▲鑞の駱除▲ 一時から消防료の養薬設割除了式を正職費での他一般民に對し傳染一來致の配離があつて除式。午後二

▲傳染病患者或生の排一擧げ、石龍新造,大石石太郎南小

際江縣五道游襲地を観々しつよお

咸南道沿岸の水揚げ高は

○咸州 | 新倉港作氏を選び目下千年製減所

僅かに昨年の

るが解食技手は更に指手、北海道 で共毛監定技術を破究せしめてゐ

な過ポームスパン下型を仔細に

から組合民制度へ組織を改正した

【咸興】林咸中鄉追別股齊長、

進陳 河 **咸中鐵道促**

九千二百人を収容を与したが、これで 毎月一面削づした炭の敷足である 地質な 大田 生態の数域で、人名意図様本に機関節が同用抗菌は安全の一種と対したでは今後はまでの動類できません。 大田 一百人を収容

【延吉】本年四月を贈して金融部

延吉金剛會發展

十六名、預金額十八萬回を突破し

早期設見に蚤めること▲學校、一権病的戶口制査により傳染病の一

中殿長の武師、中越署長の告訴、 その他別は全部に鮮命を交所し山

(平理)大同江の半月島は夏朔に | むしてあるが現有線の如き天然表 | り通ぎしたなると平域人唯一の消滅地として | 嬉してあるが現有線の如き天然表 | り通ぎした

島を汚すな!!

【威異】平元福浦鎮南線の資源調

資源調査の土産話

拓けゆく満浦鎮 朴咸南產業課長

半月島に進出した飲食店

きたない家作りに繪の風景滅茶々々

四十四萬七千七百四十三回を超え

の施疫局は一月以降五月末日まで

で調掃一致重任を緊急交渉を費を、と氾悩したので委成は無度跡を郷急表明にもか、はらず新所縁戦勲、氏を訪問、横襲任に取べぬと処伍(発声) 面上記長は迫吉次氏の群」 削中、迫氏は委戯の「人養野など

口説き落

熱意に動かされて

一泊、十六日朝八時同地最顯南に同地工堪を願察後朱乙淵泉に到り十五日來北、早朝永安に下車して

藤田調査官觀察

羅南商工會長重任

たことは底裂したが、翌十三日午一起のほかに、羅南の長老、木田、

即年阿頒間の二十五萬二千三百三 三圓の淡増でその増加率は七割七

蜀の扱高は左の如く前年前期に比」農業投術員二名、林業投術員一名。 「羅津」五月中に於ける緒歌頭側」は面有称としての加楽部型を樹て 大部分跳びし、都計に追ばれる 郵便局に反映ーて 業績ひどく振はず

沈を如實に示してある(△印は一がこの程制地を観察した早潮林業

母業について實別調査を行ってる **厚行斫伐** 現地を調査

か草皮脂製物は肌に調査を終

日から、十日間の像定で 七月中に作業が場の帰的

お歴々も總出て

尊い體験を味ふ

あり、全気を四班に分も監業實習

調・倉庫における歴氏デー第一項には、上から、掘南・長

夏目氏を會頭に機構を改め

積極的活動を開始

正氏の氏名、出身地も精つたので 質点調金を進めてゐたがこの程と行便を建立することとなり當時

一関の値上げ十五キャ三面六十七の値上げに從ひ十五月白来石當り

眠れる城津商工會

高地營農の

して六月迄でには前頭海の膨脈月離巣地の林組を継近中である

4. 丁麗介金皇を第四、出版を第一時七十名に加入連五交ので師七十一年職員最初大陸で中食後年後三時・前上時から戦時の后軍派局里で「共平線氏の香で旧艦を繋飾、官民「根長舎三反步に整義ある田艦をな

るところに山吹色の黄金がゆつて、「生き」「十五日十世」、門ら一ヶ月二十世であるところからみても進内強、英三千百二十世、門も一ヶ月二十一座の常識されてないのは巣腸部だ。世二五戦區、年産銀三百六十九

|題し、電下廿一都中電弧||城、三郎和等で九年末調べによれ 毎の金が産出されて

前津築港陳

陳何のため委員姜河水、李昌敖、 技術研究ームスパンの歌手毛鑑定(成員)成界を

七月上り経費式を掲行する、同地 【意理】室頭面遊館洞の消防組は

はたと相米な影響が建つてゐるに

米や野菜の高値に 平壌の府民大恐、流

▲カタログ進星▼

新の地方も国富あり、米質はまだ。 他人の上げに総ひ十五日日来石盆りので成功にいと歌刺したので国客の近上げに総ひ十五日日来石盆りので成功にいと歌刺したので国客会との定した、旱魃による極行不一分配することになった。 一個の近上げ十五キロ三國六十七段は左部天屬陸に五十風元。れを有例に使 ので成功にいと歌刺したので国客を ので成功にいと歌刺したので国客を ので表したが組合足の中原工作氏は河 では内地)を得たが組合足の中原工作氏は河 では内地)を得たが組合足の中原工作氏は河 では内地)を得たが組合足の中原工作氏は河 山敷林署長 十二日朱子

新十三日間島へ 有職一行七名・ を味の理料の学科が 社會式牒スーソンキチ 京東

一組 金 一 圓 大月廿一日午前八時 (雨天の際は廿八日)

全鮮庭球選手權 參申所時 加 料込 六月1十一日

清津府浦 - 洞鮮滿土地會社 一組 金一圓(晝食を供す) 六月廿日まで本社清津支局

柳衆防薬
ちど

日を慎まれてゐる一代日のため礎す

吝しみなく排泄せよ

南大門通ノ四五一中虎社の最品部

東京銀座 新潮聚藻株式會社

定徑五0,100,100.

一日一回杏しみなく 宿便は人体の塵埃

田開設の構演・「温井里」の時演・「温井里」

咸南の簡易學校

排泄するのが健康の素 ト剤は自然的株質

フェゲト 錠

麥作

出す八百萬

が開放の影響式を雄型所で魅行、 【健歴】 去る十三日午後一時から 山中字三郎、副園長岡部武、援助により七月二十七日は元山、 北師聊及び歩英第七十四帰隊の

十九帥戦及び歩矢第七十四級隊の「死後二、衆第一、長齢関百六十歳」「展興」咸電江撤南道墨跡総は第一五十名と遺跡。交離二時間にして「展興」咸電江撤南道墨跡総は第一五十名と遺跡。交離二時間にして つて解散した。 昼後に祝宴を張 で森は藍洲版第三中院到分院の約一 る匪首を江好の一隊的三十名は十一

お歴々田植行脚

郷直局、欧洲局その他要路に城中 書籍を寄贈

鮮開拓史を彩り

雄基新潟縣人會の奔走で

記念碑近~完成

片較異常 最高優位入選

部工商田吉 AM 元遺母 四七五町里今大馬成東市阪大 番つ七八三・ニニ六・一二六東版電

曾有の階級と真霊媒開のため昨年

はい書

發動機界の明星

大强力出

少懂料燃

解在力馬各

格惠縣 豹八角 特六典

【汝山】坡州郡の後作は昨冬の未

刺製鑑松書田省

圓

と月に州六貫餘 江原頻業界の

為し昭和四年以來二百九十六名の 【羅南」成北道では柳紫中彦沿 者を退治

員として些少いがある。 煙が内重整

化學工業 直接師 十四 悪菌へ

股から酢酸されて來

本年度最大路界は近々・千五日四一蘇見が出てゐる

質に選過してあるがその収別たる。 ・ 選続して基金量成をにからうとの ・ 関連してあるがその収別たる。 ・ 選続して基金量成をにからうとの ・ である。 ・ でる。 ・ である。 ・ でる。 ・

配面用のため旅行、年中間守勝

朱氏は主人が

た上京城先野廟にも報告した

馬山體協資金維

要望してゐるが、財源雕のため如 めさである、各部とも經費増額を

で何とも、現に都に保治し、方ご郎一十、即といる戦戦さで織つ、各部、原利川郡の落を正には徳川郡和和の条軸と、総上の派撃もお釈起なもの。然に、高武天氏が来生することになった。とは後任には徳川郡和日郡の落を正には徳川郡和田田といる後に、は徳田といる後に、は後任には徳川郡和田田といる後に、は後日には徳川郡和田田といる後に、は、「日本」と、「日本」の、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」と、「日本」」と、「日本」は、「日本」と、「日本」は、「日本」は、「日本」は、「日本」と、「日本」は、「日本」は、「日本」と、「日本」は、「日本」は、「日本」は、「日本」は、「日本」は、「日本」と、「日本」は、「日本

出張不在勝ちの夫に代つて孝養四年

統營の孝婦を表彰

の如きは密をとつて食べさせ大小

7年七十人になる老姑が全身不満

築後接會 初の役員會を開き

河峡水、佐原玉、李朝根等の有志

白轉車盜難

取締りで減る

【大邱】果實の本場大郎は今年の

| 食べられると産地地元民は大喜び | 城の見込みである、たほ建物はブ

ロック置り百二十年

撒水自動車

朝鐵營業所

需要者側や大喜び

期間児童は水玉山、江外等他面の

金属八十二個七十二銭を邑事が所

八十四等三百六十四戸の戸雕龍線

今年は珍らしい豊作當り年

進學校に通學する現状に酌画長

通に恵まれてゐるが、同面内には 補授一校しかないため年を数多の

証置たる多楽里にあつて 比較的交一

してゐるが今回も呂月那翻の末等でから細臣教育に隱れた同情で施

【金集】 邑內黃金町崔昌樹氏は後

細民の税金を代納

防局、配々打合せを遂げた同郷北京部は十二日、思北

思北道機を

導する事になつたものは がた、同校で本年特に強調指

の原因について専門管の調査

児童は同格都市九校の内體

概分は遠穴族の標準が1日五 闘ることが先づ近道であらう

に表はれたところによればず **耐収況が六位六分にあり、こ**

父兄に謎つた 瓦で充分であると瞬間校長は 内に即資店(と開版質所)を設定

火薬を配給すべく堤川県工事も燃へてゐるととで

部、忠北太郎一帯の鑑山と中央 一時の大炭纖をはじめ江腹、京歌「海州」朝鮮火繁盛飲では彫越、

に渡り営日は主として残業外の砂碗大にから開催されたが

▲兄童に毎日反省日記を記責行によつて模範を示す事

イタミンりの不足が主因で 題分の過剰も限因であるから

りカルシュリム、燐の不足、

を學校家庭剛所より鼓吹さす事▲特に思君墜園観

の指導振りを見せ相撲遊戯を

等であると、なほ御里小草校の場所(二)砂糖分の減少をする事

朝鮮火藥會社

正照孫曹々を聞き間景を

する記述で目下、 題川塔へ出願さ

【清州】江内野通學校は面の中央

時間もな

んのその

者はえびす顔

連日繭は高値を呼んで

慶北道内の出廻り活潑

際から富士屋で役員館を聞き脳場

応討里の火災で翌日な罹災者を数
「清州】去る七日、清州都米院面

る記念品牌等、案を貼り長生が

臨其他有志智恵で我振金を弊集中

仁川調理師親陸會

いすべく野面長、薩同地駐在所首

名墨爾恩推廣、功労者に当

「第山」繁華館では十三日午後三

仅員會を開く

行はれた、紫松田敷一八二月、既 【新山】邑內座軍衛型第一職取締 座談會

蔚山度量衡檢查

たとして収取られ仁川署も港の特でとして収取られ仁川署も港の特別が別

活動中の海軍線が発展支票では愈、曹武を挙げることに内定し心備中一に動い、子名振艇を目標に「楽館を仰ぎ報山を勢守で深大な部」を

度器検七〇(不合格敷・三)

は商工智能所の後援の下に十三日の配となってゐるが、知商組合で否もこれには第中貿無義都の資富

て現在し後を断たないので

として振躍のあとから!

散務を司らしめることになっ

裡里の小學兒童は

お菓子が過ぎる

イタミンDの不足から

體位は、丙、の部だ

慶南の海軍協會

會員募集も上首尾

釜山で支部發會式

4来る七月一日今井田政務豊臨の一である

就在是曾位于一名を設置、同面 部に置では去る十一 十四、五兩日、同面內一帶に回 學會技手駐在 「清州」 狂犬病療防性射を施行

紀の懸案は解決された **浦項水源地** 道當局から 不變更說明

【大印】絵野を話けてゐた返日部

月土木跳長は浦項の有志に當局の を原態等によって変更するが知る 見山正流域に決定したが、これ

□項上水道水源地間

題は

医報の如一州地方は十三日來

出に

話書と来、

とは鉛内温度九十度を記し市民を一蔵柱はどん/―上昇し十五日な 教室を新設

水騒ぎ防止

Section 1

旱天續きで 仁川署鰶戒

試言」目では入學館のため今巻 水観さりに配を光らせに川客高等 不安を隠じ早~も。早難による凶 るが、早天の農村に起り勝ちな

學もれの是面百五十名の数演策 山五十名集まり当策器究の結果 たので五日午後三時鵬織児童父であつたが、この郡不聡可とな せる計画を樹て當局に認可申請 公当校建築設として一般から弊 一納付した千六百圓とさきに第 た八千国で明井里に第二公世 伽書生の名目で現理校に入學 ぎの防止に努めてゐる 延長即ち現在十一學級を來年度か 負擔企三萬国につき組練の結果の十八學級に延長するに當り一場 後四時から国時役員會を明さ製年【江華】公啓校後援會では九日午 長張吉使、副會長金根館及催龍の 江華普校役員會

似を目標に敬望を建てることに **父兄節長部起源氏等楽走中 「と臨謎の上決定することになつ+を目標に敬宗を建てることに」∷氏に・俄し暦内面長及江華郡?** 釜山簡易授產塲

家内工業の技術を授く

4年度から規模を撤掘してあり来の簡級機能基を経験してあり 府では土産品その他家門 月竣成職工養成 創計、幹事六氏 東京の合運

水彫人形、薄投、與棉加

製造九月までに鍵工させ朝鮮人徒 どを網難する機産場を中島町へ が製ますこれを国政州へ

を設成することに決定した

川本町青

一世校長の登起で記念品を附呈すた例の世界大集脚でそれた、条件した例の基本地方那長、哲学和民年代中の原語、開ゆるため岸本地方那長、哲学の大場の世界大集脚でそれた、条件した。

年間同僻のため難して來た杉本創 川根古のり、青年間削立以來十二 心下で発行、関歌合唱、関語、意 質は十四日午後七時半から公館で 【仁川】本町青年賦の第十、回帰 近、組織されたばかりの法院書清州の野球戦 [清州]

· 接入顾長重任、古田氏訓縣長、鄉 世長は事業の関係で副願長を新任 海野歌園は去る十一日、公園グラッドで郵便信車と野戦、七野川・上記のグラーはなりの、出版がフ

と会局中間で十四日子をマニー と会局中間で出頭を受いる下つたので削組合長金半両氏は、道の都可 て誠に有難うよいる下つたので削組合長中谷竹三郎 は、またしばり

彼ってゐるが母では僅かに徹水は 別ともなれば車馬の通行館に黄に 他市街地阪良施設がないため、夏

の挨拶後開與、午後十時散曹

以新に副脚長に選ばれ新入版母

同に合はず衛生的見地からも効果 に依つて之を緩和してゐるが。即じ

大邱にビル

[大邱]

が四般し市民は一方ならぬ迷惑を

「湯州」歴疾の都市満州台は文心

料亭に官民有志、新聞記者を招け、 品質的業品合民、折川年大郎折出氏の張宴(練習)

▲四種新任昌原郷守州一日签山一を赴任の豫定

▲西田慶北理財課長 十五日單海

白粉つきのよい肌に カスは薄らぎ

「時三十分列車で大邱者、「研要港部司令官」十九日

高知縣 中川 ひ と

脚で、何時も続はいます。元文宗記はいます。元文宗記はいます。元文宗記はいます。元文宗記はいます。元文宗記はいます。元文宗記はいます。元文宗記はいます。元文宗記はいません。

所念」ではもうがし歌くなる方法は 同つてはもうがし歌くなる方法は のつてはもうがし歌くなる方法は ないものかと趣々の難感の顕古を は 世級してとの事でした。(要略) したら、それでは私にも是事)ケ 悩みもなく 三重 置本よし子

L

お肌の醜い方の ر جر

手當と化粧法 新らしい美顔術と……

白粉ぬきの化粧法

と まとり、 ニキビや吹出物が出来てゐたり、 ニキビや吹出物が出来てゐたり、 ニキビや吹出物が出来てゐたり、 ずはまされる事は子や脂でおいれから水脈に暑くなるにつれ

所に見せたい歳は巨紅を、皮癬に 郷大でお師の鰓蹠を観察する事で、 郷大でお師の鰓蹠を観察する事で、 でいる化亜法と申しますと釈証と巨紅 のなってお師の線点を観察する事で、 不用し、単つすの概念を拠さて実験では、 の事が大戦でもいます。 両を観がた のの事が大戦でもいます。 両を観がた のの事が大戦でもいます。 両を観がた のでは、います。 両を観がた のでは、でする。 のでは、でする。 のでは、でする。 のでは、でする。 のでは、でする。 のでする。 でする。 のでする。 でする。 のでする。 のです。 のです。 即能で中央を置くして跳艦をあるには飛船を通貨に使ひ、赤月

「もなりませんから真に美しいおいしても土蚕となるお肌が酸粉質のお化粧をするのでムいま が破明されるに至りました事は大きな事がでれるに至りました事は大きな事がであり、更に動作の理如な効力を設勝するコロイが現場を対象ができまっています。 更に動作の理如な効力を設勝するコロイドが起来。 をかが、大学には他来種として、 をかられたのには無源的なものが見付かりませんでした。 数が出版図、五年来学館化学の無常な変異に とり解する回来の対象を指案に数のつておりました。 たかられる可量な指案に数のつておりました。 たがられる可量な指案に数のつておりました。 たがられる可量な指案に数のつておりました。 なが、大学のの状態を発展の無常な変異に とり解するのでありました。 います。それには定づ代粧料の影響が大切でして地館で観聴な堆脚を整へる事が大切でム質になるにはどうしても悪寒的に完成剤を確頼になるにはどうしても悪いに完成形を 第一て行きます。以下實験者の創作薬を撮影、原にして原に築金を異へ聴えした健康な脱せたけ容易が、実他ニキビ、桝出動なども解析な別とも解析なども解析なども解析なども解析なども解析などもがある。 整へて行きます。 配合した

醜い ビが消え

板しまたから御業順下さい。

レオン研究部

の綺麗な顔に 宁

ま、その歌り下さしまし、 地口々し、肌に、 大部根・部れの音、4のお配と敷飾してあます(優等) のいかがい難くがきこえ シミは満行らず」 ナー4をお歌りでもます(優等) の職別ので野には解くも縁した。これ機にレオン発験リリーで 魔女でないます 財産 闘いニキ る事は独々でしたので大戦阻って私は後に続い所性で献がベットリオー 艶々しい肌に

憲 注 御

いニキと、シュ市が照や小場等した。 一番、から超校の個別のであります。 「レオン施園を別では、一番、から超校の個別のであります。 「レオン施園を別では、一番、から超校の個別を選手が、イトののであります。 一番、から超校の個別を引き、一きは果まか。 一番、から超校の個別を引き、一きは果まか。 一番、から超校の個別を引き、「は果まか。 一番、から超校の個別を引き、「は果まか。」 「大き、村政園、保護、「大会社会」 「大会社会」、「大会社会」 「大会社会」 表別の方は宮珠度変元、御社 文下さい。「在保証を 東方い。「在保証を 国四十四年 の「大田」の の「大田」の

河童群 0 躍動―仁川月尾島の夏繪

を散心されてゐる、道内三十一ケ一が現出する情勢で農家は非常な裏 八千貫に比し二千貫増の十四萬貫 | 街も奔撃、久し振りに護景氣時代 の出題り数量は昨年實践の十三萬(六日は更に卅比五分を唱く一部)一个枚減の四萬枚であるに對し顧の(に此し實に六肚五分の別論、党十

尽く腕立枚数は昨年局期に比し二

職假は廿八位五分で昨年の廿二山

る数定である。

月初前原完成の野

釜山の鋪裝

||一門里小學校と西遺館社の中間に

銀につき金一関(金金を貼す)申込みは十七月までに釜山縣郡京城日報支局(電路九三三)又は釜山路大鷹町二ノ一〇釜山區湖城駅事務所宛に願ひます 時から釜山高女校コートで銀行することになりました、参加縣域は影電北道一圏で参加料は一本社主観全館路球選手観大館電路を選ば釜山路球談響の後援で來る久月二十一日(日)午前九本社主観全館路球選手観大館電路

主催 京城日報釜山支局

釜山

庭

球聯盟

大の監督局で十二日午

清州】忠北道内の本晋国は皮肉」る豫定になってゐるが稀價は鲢上

忠北も頗る好調

糸價は鰻上りのたゞ一途

出來榮えも上首尾

一貫首位は何州の二萬二千

剧れ一個九十銭を唱へてゐる

この頃の書さも何のその悪比須髄 し糸僧所他の彼に乗つて養理家は

仁川署增築

八月に完成

一貫である。なほ大邱府

一個四十三級

是別の道路延長二百卅八メート

日から着工八月下旬までに映工の 福政十メートルの確接工事は十

> 部等も協議し七時散館した **心引込み線、電気値下、飛行場**師

だ、十五日も引敞き高値を呼び買

|単天観きで却つて出來聚えは||りの郵心振りで清州共販所初日の|

等機能は、野島里は香港等がは、一番の高等能は 事等。自計量は司由祭事務室にす

司法、「高霊虺事軍と高等国、高」

最に既任受配をしないが全部単は

所氏の就低を翻撃してゐる **俘熊衛氏は後週に途を開くため容**

密陽稅務署

二十一日釜山高女で開く

新築工事入札

十六日から治手した。 副示器に際一部で登画一致で歌長重任となった

極著長の努力で懸案の顧舎増築を

題者の狭隘を告げてるたが、熊 仁川」蘇宗書では事務繁雜を來

團長重任拒絕 仁川聯合青年

磁を思む器が確ちてゐる昨今、清一

會長一鱗內加撥金三郎氏、稽仿した

凬上

全鮮庭球爭覇戰

【満州】旱魃霞きで隘所にお天道

清州の酷暑

脚跳整質では左の通り役段を決定【H川】この程識在した仁川間理

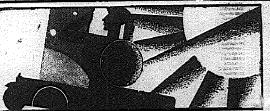
[11] 炎熱に押し出さ





年周十三曾報日城京祝

城



身半不隨舌もつれの中風となる。脂溢血や心臓痲痺で動れたり又は の原内は酒煙草・滞棄核羅・便秘・傷

痛み腫れ震ひ・ぜん息・狭心症 郷耶族で布名な今津博士は参謀等門のふら/~卒倒・不眠・神經衰弱 浄化せは治るおして心でないれる能なと肩こり頭痛耳鳴・目まひ・動悸 血液に満って傷悪が悪い意思るので、血液を 高血医シピレ動脈硬化ゆから次は一番學博士と共に否心を表の部界

多数の軽弱者を治し非常に感覚されてるる 血液が満つて循環が悪い無思るので、血液を 等。心痛、大ケガ、又は大患、軽症などで、 その服用に依け、今まで不治とされてると、 素晴しい血液淨化劑 を繋じ 此病の人は一氏も見し配所もの 殿町村で有名な今津博士は多数等門の ご鑑賞に基書、実際と症状に楽した神化せは治る氏して不治でない事を飛めた するに限る!博士の機能ある研究 今津博士

強次の根本から治す

行くか、手続に容勝を配し急ぎ依頼 血液学化療法を感覚に数へらぬる 大阪警察衛三國本町今津研究所 同所を訪れた影響は、博士の歌歌が

髙級 薬用 スルボー ついた樹蘭を裁滅消毒します な防、治療しる整へると共に身體に く楽しく整へると共に身體に く楽しくを、おと共に身體に ごちらが同じ使ふなら

石鹼の作用を御存じですか 化粧石鹼 但し安物は皮膚を傷めます

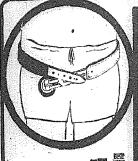
ボールベヤリング式



小皱をごり お肌を生々と 皮膚榮養化粧液







▲各地到る處の薬局・醫療品店にあり

大阪市道接町貳丁目大阪市道修町貳丁目

会经 含含 整式 主要 中川

村 П

利

麒 揻 商

店店

▲從來品の缺點が本器の出現により

掃せらる

儹 定

醫師の絶讃を博せる 理想的脫胸帯の出現!!

本条八種あり 大人用 大人用 圏五十銭より (説明書) 能験に薬なし

ユースは.....



粒言目メ 菓工 運沙動影 遠足ニ 旅 بال

社会式株コリザ(巨大・京京)

新發賣 48型 ペント 定 價 ¥46.<u>00</u> UY24B•UY24B•UY47B•KX12B マツダ真空管付

新發賣 200型 超小型 三球ペントード エヤープレンダイヤル付



定 價

¥ **46.00** UY24B•UY47B•KX12B

シヤープライト製 キヤビネツト

シヤープライト製キヤビネツト超小型ラチオ

ープライト…一樹脂と特殊化學原料とを合成したもの を金屬型に入れて高温度を加へ壓縮塑造されたもの

であります。 ・フライト…―表面、内部共同一の美麗な模様あり、 瀬目、別れ目なく、歪み、髪色、麓龍しません。

ープライト…―濕氣を吸收しない、理想的な電氣絶縁 材料であり然も高温によく耐えますからヒマ等絶對

に生じません。 以上の線な特徴がある上に装備したエアープレンダイヤル は此種塑造品中初めて「シャープ」に依つて完成美化され たもので當代隨一と敢で斷言致します。

早川金屋工業研究所 排式會計 大阪市住吉区西田辺崎

路續路線と新天地の開拓

のでは年卅英順を突破するだららと とも5一隻の繁華鮨の庭航をまつの では年卅英順を突破するだららと とも5一隻の繁華鮨の庭航社 電間 明治卅八年頃に比べると實に非師 繁華峡の連続船は今半龍の女士と

地穴が四萬九干組、朝鮮者が八萬|陸との楽姫が便利となったのだ、

何れ満蒙へ縦走連絡せる

栗一臓を5つた時、世界一の数々を備一

安朝として建設動を明始した大阪 東面間を築く私郷馬昭殿の實地迎 馬面間を築く私郷馬昭殿の實地迎 のであるが、第一は中

革が思りさうである

へた家華選続が生むるといっこ 中央線建設の重要性が全國氏の心

とも奇しき因識といはねばならの つアジアの新しき経済往来の大動

総が半島の証其絶近として完成さ かけるかといふとであって、 サラリー

マン泣かせ

第四日 京城縣 (午期八時)

開院宮殿下の

御召車に狼藉働

狂へる高島愛子

閉して、敷含の客と敷名の妓生と

やうな思さをものともせず、襖を 間に京城網路通り菜ー流料亭の 十一時)光州一太浦。京一種里著(周十時)裡里

價は騰がる

(大津電話) 日本赤十字勘整門縣 | 東しかくつた際、街道奉連都の中 が観が音パーセント、身にするよ。 紅斑波炎地入ここは間の機物の大力には、十六月午後一時三 出し、畏く」酸トの部代自動時間 | 離つてるためを、人もあららに銀 後一般甘五国で合計四音国で変金・十三角歌に向はせられる知道中、 たが、そひ間で自動戦にはまらず ともなく楽却、その人道を吹んで・ト・ジー六懸を棚舗し、十六月午年一日に、畏く」酸トの部代自動時間 | 離つてるためを、人もあららに銀 後一般甘五国で合計四音国で変金・十二月年 | 田し、まく」酸トの部代自動時間 | 離つてるためを、人もあららに銀 後一般甘五国で合計四音国で変金・十つが十六懸を棚舗し、十六月午年 | 上、十六月午後一時三 | 田し、男く」酸トの部代自動時間 | 離つてるためを、人もあららに銀 後一般甘五国で合計四音国で変金・トリガー六郎を棚舗し、十六月年

炎天續きの爲お米も暴騰し

奥様は台所で悲鳴!

千壌酸(同九時半)――定地・

(同十一時) - 京城春(午後一年) - 城東、春(同十一時) - 京城春(年間入時) 城 興禄(日間入時) 城 興禄

第五日

新蚕州者 (同十時半)

足・削し時息城汝矣點を田誕、

邪!コースにつき、左の日本によ

行士によって政行される、なほの節に於ける派明修な壯駿を凱瀾

段下して、この純國産優秀機「白米に最らず日用品物價はダング」

の指数は六月十五日現在で六十の指数は六月十五日現在で六十一十二品、低落品に僅か七品、保合十一品で京城所の日用品勤物(の計算の中物質情報に騰貴局が、

| 京電の四十割を最高として

で服はつた、十六日は京電だ、蹬・麻内に、御頭に、家にその後の話

城、蔣中左の和く湖つた 記の寛成を斟酌して今期に限り七あつたが、十六日午後三時計分闘 こと、なつてゐるが、戶期稅は上

ブル施設の打合せのため東上中で一は世日より暫促手版料を設 仮食遊信局工務課長は日福間ケー| 管業税的加税は八日より、家屋部

- 振帶東京八三〇四二番

見述すべからちる利強の最好機

金 配 別別取扱!!! 一度他店と側上的で乞ふ 一度他店と側上的で乞ふ 一度他店と側上的で乞ふ 一度他店と側上的で乞ふ 一方 おっち 村 上 カネコ方 村 上

電前 0 三五番地区原産

女給 整名語彙
金建著は葛建造付あれ
電力を優加す
一切地色本町 カフェー 深水
・ 現地色本町 カフェー 深水
・ 現地色本町 カフェー 深水

を発起を御利用下さい 合名曹単 秀 英 北 合名曹単 秀 英 北

信券朝取並親取 會

飯倉さんのお土産話

島四十割、最低州割の物速い好量

華やかなるナス景氣

だした、仮の本町、明治町が羅路

一十六日までに出願った

規天概きの単数で、農家では田植一ン総質して合所をあづかる奥傑方 は釜に悲鳴をあげさうです

裴龜子樂劇團公演 今夕七時半府民館大ホー

=お宅へ配布した優待祭に五十銭の食費をお添へ下さい──

♪本紙愛讀者慰安大會

五班の記費を示してゐる。なほ主「サフト明る」なつた家 「駱」船」した。た、ボーナス最高、一年にに載いて總羅戲に見ると「割正分」がニッコリ微笑んだ「腰の繋びだ」だした。仮の本町、明治町が雅踏 **之を削年間期(六月十五日堪称) | 『出ました?』『出たよ』長と芸』夏物を順(たテパートが急に振ひ | □同・上半期のボーナスが始んど**

全鮮各地に

プロで直ぐ朝鮮取引所(三十割)だり、国の朝鮮賞談(二十割)六月に入っても五月下

さかせたボーナスではある いことだ。でもパット景楽の難を は鐡道を除いた各国際にこれがな 渦をまく、年末に比べて裾しいの きつて、カフエー、脳師に觀察の行戯がこの時とばかりに札ピラを って仮は、下衛屋住居の商社、銀

献金美談

て既正最初の第一期を迎へたが、 限、家屋税は、五月末を納頭とし

城穴に交三人のおめでた

又も醫博二人

京城帝大

學部學業、明川石級工業質此的

永積純次郎著

関版二三七圖 秦判一七一頁

送料十四雄間二円五十段

學 通

論

第採 一鐮 巻學

一年度から實施された道程、戸船

無線經由で北平との間にも外域が てゐるが、更に十五日からはこの

文電報が打てることとなった、

四森林會

蓍

MARUZEN

配空寫眞測量と其應用

・ をなせる帝國森林奇の崇遠にして、檀威ある事は贅育を要さない。日月に瀬州樹に於て、良く二百九十萬町夢に匿る大爾妻の朝意して漢州樹に於て、良く二百九十萬町夢に正名大田東の野をして東京を全陸の明恵として瀬州 しがくさい あいまい しょうしゅう

の取扱ひが去る一日から開始され からも天津との間に外國和文版部 果京天津間 無線連絡 經由で 朝鮮

商報其他申込次第 欣呈 價券當鏟番號無料調査 日本橋(2 二九四八・四六二七章)話(4)二四三七・二八四三

日本理財協

會

北京へ和文

よくない

共犯逮捕に當局活動 数全事に開創が数据してある事が一 ある、何その被害は何しる数物

れた時には強人な蘇罪が戦る高低裕も不明で、共和全部が避難さ として像存されてあるものだけに

一る鐡道の十五淵が一枚加はつて電 出るわ出るわ殖銀、東街の三十 それに官職側から馬子最常に職

十五別記篇、十五日は「ナス洪水」 年と同じで蘇睺が二十別、三越が

景気のよい所をみせた、標準は例 十日には朝鮮銀行、三越がザツト

明大(學)對京電(學)

午後五時から開始一京城球場

百匁金箔塗りの木像をはじめ、學|に分れ、阪に係は你産品商と結形 まれた高さ二尺八寸、重三二貫五一が、一味は高取班と腹質班の二つ

この器道計畫が實現するとなれば、この器道計畫が實現するとなれば、この語紙一帶も間膜たる山丘地下資源が横位つてあるほか。 在場所とも感めて開鍵の重要性には一世軍用場合になるのでは、この影道計畫が横位つてあるほか。

ある、對演連絡めざして突進す。 の平原が開拓の手を得ち焦れてしていてある、範山が民、山本が民等の平原が開拓の手を得ち焦れてしていてある、範山が民、山本が民等

一する必要がある、一方では中央部

れて同大學では九人の層性を

近の技術技術内の頻響に適じて全替に改訂り窓脊槽されてある。この政策は次いで開坑及推構に要する作業市を原を歌いてある。この政策は次いで開坑及推構を表示してある。この政策は次の技術技術の対象を表示している。

郷・名古屋・枝 濱・陽 顕・仙 屋・札京・神田・三田・早稲田・北ビル) -- 大

桃假 京神 城戶 もお手近の中央総沿線に就て協計

中央線豫定地縱走記

主)

野議を民の新政策として昨今時等で、非常時日本を打開する重要条 軍と本府とはしつかと握手した形の軍能預期帯の明指をめざして、 刀は半島を主盛として生れ出た

十六日午後一時頃、京城開崎町

餅配達のまゝ

變へて力強く實現されることにかくて半島の國防費分擔も形を

一定であれて、一大日午後、南天安郡守塚面の倉が貝が可覧で、南天安郡守塚面の倉が貝が可覧である。 赤木痢 氷、果物が質に汎濫する 文した餅、價額三回ばかりを積一鳥田商匠雇人金製は総道局で 化學講演會 十九日

けふの天氣

里水開産上江渡る来てつ持を構造人江渡るなに箱ひ拂おく近 再建の間音点 、るるてし抄進々者でき高の尺十三約上がは観

こゝ題くは鑑賞の傾向を辿

ると見られてゐる

用品の値上りにつき稻垣勘差保

と高下するものですが、今年は人體日用品は白米の値段に伴れ

朝鮮料亭の

全鮮にお目見得飛行

-九日から五日間に三つて

慎飛行士の手で全鮮に飛ぶ

らゆる関助から登田出来ませららゆる関助から登田出来ませららゆる関助から登田出来ませら 開送りて、 困るのは優齢生活者で 観賞で、 困るのは優齢生活者で

(十一時)京城級(午後零時一一下)

一正陵――京城着」なる整貫品を昨年の同月に比較し

十六寸豆= (五割高) 肉類(二) (二割高) 雞殺=大豆、小豆、小豆、小豆、小豆、小豆、

DKでは六月二十八届から十月

特

影窜风 特別立替

公更月賦日掛の御用は是非智慧な、「現御立曹、其の仙門話金融の宮、「大の仙門話金融の宮」、「代の要求に盛み合利为此可修」

DKから放送

農村講習を

貰つて受練したが不合格となりを受けた批丁 (匿名) は振慢を

保安主任が 現場發見

五日後十二時から十二時までの|柳県の明明化を期する事になった

北市職们の城、暖識界に入り七年。師に異常を呈し畏い暴舞を願いた女優高昂雯子(゚ーシ)で、師人は高麗。り後度のモヒ中豪君、罷作艇に精変された、取調べの結果、元日語、米だものである。最暮生部時代よ野された、取調べの結果、元日語、米だものである。最暮生部時代よ 前引退、大連に渡り洋源店を開業 ものらしい

したが、間もなく難趣、引戦き東

職替裴龜子公演

世子公司によりたのは、 火器

就牛承合セラ

則機

黑鉛質 香川工業所

※ 京日案内

美少 女サービス係募集 ・ 大五歳より十八歳まで 月熱四十間返 ・ 原域郵便隔機 魚 窓

花柳病專門

大 リスシード壮十一々 関特別安徽会議在当者公全領決議 福山郡田日之本政部内 黒 太 突 堂

(時三〇分(東)英語聯座(四 十七日番組

持時間各七時間

上揮話

ユウ子の

方が部落的であり、

(地域会) 大月廿三日 (地域会) (地域会

所究研藥製大六

仁二川汽品和地區庚七百 海州 總 風航 網日出版 東田地區 海河 總 風航 網日出版 東海線 经租赁 电阻 电电阻 电电阻 电电阻 电电阻 电电阻 经 图 線 每月去回出版

大月十四日 四番

大月1十六日 (大月1十六日 大月1十六日 (大月1十六日 (大月1十六日 (大月1十七日 (大月1十七日 (大月1十七日 (大月1十七日 (大月1十七日 (大月1十七日 (大月1十六日 (大月11十六日 (大月11十六日 (大月11十六日 (大月11十六日 (大月11十六日 (大月11十六日 (大月111日 (大月111日

斯山 線 院は出版 京部地画と映画、大早島 大学島 ルノ外・沿岸今方面行貨物取扱 ルノ外・沿岸今方面行貨物取扱

六月十三日

|西湖淮出机||代理店、富田||商留

店 幹後運出 大月三十日 大月三十日

嶋谷汽船株式會此

能って電燈 雅韵 二割のお徳です。 新マツダランプは明るさ約二割を増す。 點けませう

製法特許 ・健康者に「便秘」なし グレアゴール博士日ク ・疾病に罹り易さは アントアーヌ博士日夕 「宿便」あるが為めなり ・萬病は「便秘」が原因なうリー博士目グ 「宿便」無き人は病に冒されず はいませんである。 (リアニ店園各園会) 元 賣發造製 二等個高區並杉市京東

指定下さい。

シン 人のんで 勝ちつづけ